

# 「ふるさとのお宝」を見つけ出そう まちづくりに活かそう

歴史文化資源の存在や価値を知ることは、高砂市のこれまでの歩みを振り返り、これからの進む道を考える重要な手がかりになります。歴史文化資源は、今後、高砂市が歴史文化に裏打ちされたまちづくりを進めていくにあたって、重要なまちづくり資源として活用できるでしょう。

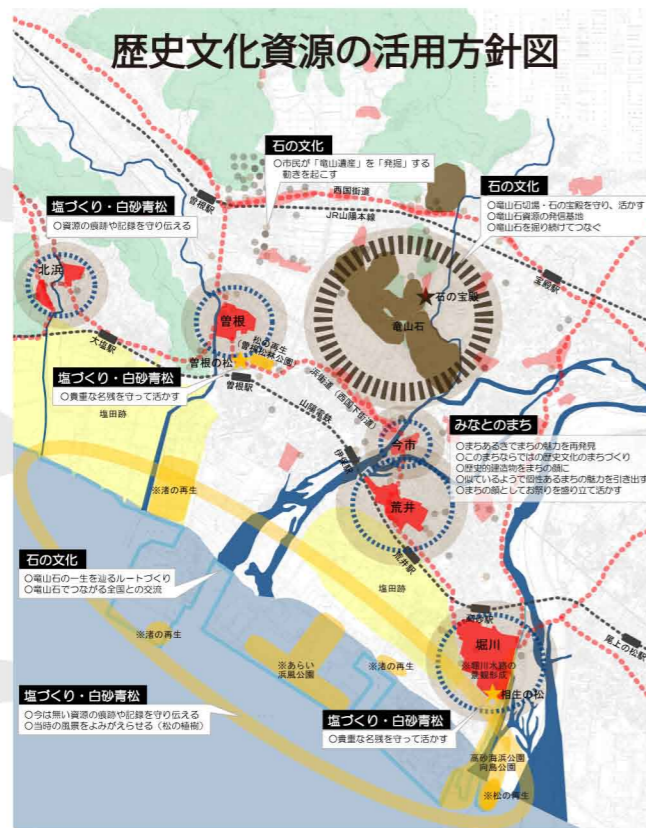
## ひとづくり

知る

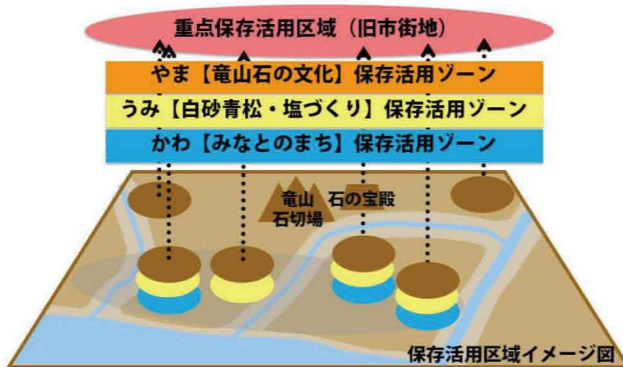
つなげる

活かす

知らせる



## 保存活用区域イメージ図



保存活用ゾーン…歴史文化資源が関係性を持ちながら広く点で分布  
 保存活用区域…歴史文化資源が関係性を持ちながら集積し面で分布  
 (重点保存活用区域…各テーマの歴史文化資源が関係性を持ち集積)  
 中心施設…重点保存活用区域の核となる歴史文化資源

## まちづくり

地域の魅力向上

誇りの醸成

地域活性化

高砂を「第二のふるさと」  
に感じてもらう



旧入江家住宅の修理現場見学会



高砂地区町名由来板

# 高砂市歴史文化基本構想

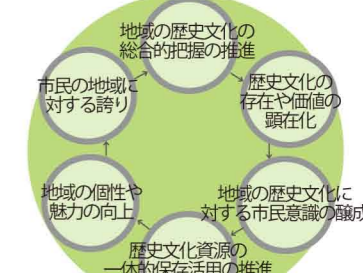
～歴史文化を活かしたまちづくりをめざして～

<概要版>

高砂市

## 高砂市歴史文化基本構想とは？

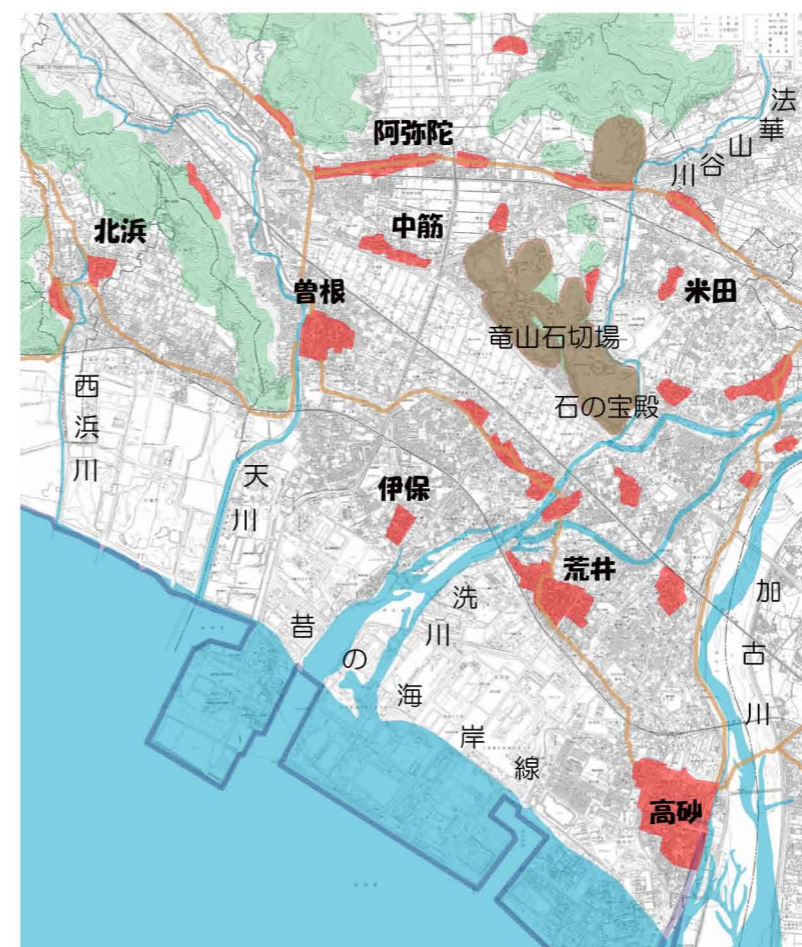
高砂市の歴史文化をひもとき、高砂市の個性や魅力を形成している歴史文化の流れを再確認し、それを将来に受け継ぎ活かしていくための考え方と方策をまとめたものです。歴史文化といっても過去を振り返るだけのものではなく、これから編み出されていく、将来の高砂の文化をどうしていくかを考える構想です。



連鎖的に効果を生みながら相乗効果が得られるような方策を実施

## わたしたち高砂市が歩んできた豊かな歴史文化の歩みを知ろう

高砂市は、竜山（やま）、播磨灘（うみ）、加古川など（かわ）といった自然や地勢に恵まれ、これらを活かした豊かな歴史文化が育まれてきました。また、地形や環境の変化にあわせて、人々は生活を営んできました。現在でも、こうした歴史文化を象徴する多くの資源を見いだすことができます。



現在の地図に、明治26年の地図を重ねて、集落、山、海、旧河道などを色塗りしたものです。



航空写真 昭和35年



航空写真 平成21年

## 市民・市民団体・企業の皆さんと高砂市の協働を通して構想を実現

歴史文化基本構想の担い手は、市民、市民団体、企業、行政です。いずれが欠けてもうまくいきません。それぞれが連携して取り組むことで実りを得ることができます。

すでに進められている、みなとのまちや竜山石に関する活動と連携・協力しながら、新しい動きを生みだし、発展させることで、強力な推進体制が生まれてくるのが望まれます。



歴史文化基本構想の実現に向けた推進体制

# やま

## 竜山石の文化

時代にあわせて活かす知恵



竜山石切場

竜山石は赤・青・黄の三色あるとても美しい石です。高砂の竜山でしか採れない貴重な石で、古代から1,700年以上採石され続け、全国に運ばれ使われてきました。

阿弥陀・米田・中筋など、高砂市内の各地区には古代(石棺等)、中世(石仏、石造物等)、近世・近代(道標、建築・土木材料等)の竜山石を使った製品が無数に存在しており、日常生活に欠かせない資源です。これらの美しい石は、高砂の歴史的な風景の底辺を形作っています。また、古代から広域的な交易拠点であった高砂の歴史を物語る資源でもあります。



用水路の石垣



三色(赤青黄)の竜山石



時光寺古墳に埋葬された竜山石製石棺



石の宝殿

## 活かす

石の宝殿・竜山石切場の保存活用  
 竜山石資源の再発掘  
 竜山石資源をめぐるまちあるき  
 流通先各地との交流



古代	中世	高砂市指定文化財(平成21年3月24日現在)
石の宝殿	石棺	建造物や工作物
古墳、石塔、道標	大形の石仏	史跡
	和歌山、角形光輝型石仏	考古資料
	龍山石の石仏	龍山石製石棺
	石造物	

播磨灘に注ぐ加古川やその支流沿いなどには、古いみなとのまちがそれぞれ存在しています。近世に舟運で栄えた高砂、古代からひらけた伊保・今市、製塩が盛んであった曾根など、成立や発展過程がそれぞれ異なり、それを反映した個性的な歴史的建造物や町並み、お祭りなどが受け継がれています。ここでは人と物が行き交い、交流が生まれ、文化が育まれました。文化交流拠点だった高砂の役割を今に伝える重要な地域です。

# かわ



曾根天満宮の一ツ物神事



今市の歴史的町並み



高砂の歴史的町並み

歴史的建造物の空家などの活用  
 地域を象徴する歴史的建造物の拠点活用  
 まちのお宝探し  
 歴史文化を活かしたまちづくり計画づくり  
 歴史的景観などの魅力づくり



## 塩づくり

風土に培われた技術

製塩は近世以来の高砂を支えた主要産業のひとつでした。海岸に広がる浜辺を活用して多くの塩田がつけられました。塩田は失われましたが、荒井・北浜などの製塩集落や旧家の建物が残されています。また、塩づくりの技術を再現・継承する活動が続けられています。



かつての塩田風景



塩田経営民家(旧入江家住宅)

## 白砂青松

心の原風景の再生

白い浜辺に青い松の美しい風景は、古くは万葉集などにも謳われてきました、高砂の心の原風景といえるでしょう。近代化がもたらした変化により、一見失われているように見えますが、目を凝らせば、その名残を発見できます。



松村公園(曾根)



高砂海浜公園

記録や記憶の掘り起こし活動  
 技術の伝承  
 「なぎさ」を感じる空間の再生



# うみ

白砂青松も塩づくりも、今は遠くなった海辺を想起させるものです。豊かな高砂の海辺を将来に伝え、その再生を図るうえでこれらの資源は大きな手がかりとなるでしょう。すでに、浜辺を再生する公園づくりなどが進められています。